

## ◆評価指標等に関するこれまでの委員会での主な委員意見

(第1回評価委員会～第5回評価委員会)

- 「外国人延べ宿泊者数」よりも「外国人平均滞在日数」に置き換える方が、観光局の努力が結びついたといえるのでは。
- 統計数値は推計のため、ホテルから直接ヒアリングするなど、実数の把握が必要では。
- 国際会議は「開催件数」ではなく「誘致件数」も出していくべき。誘致した努力を加味するべき。
- 観光局を評価する側が、観光局が調査したデータを評価指標にするのはどうか。

(第6回評価委員会)

- 国内旅行者は大事な要素。国内向け事業も力点を置いていただきたい。
- 自主財源はリスクを伴う。今後、評価項目でいいのか検討すべき。
- 観光局の活動や努力といった「質」を評価できるよう、再検討すべき。